

農 地 ・ 水 ・ 環 境 保 全 だ よ り 第 62 号

編集・発行 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

活動組織の紹介

◆ み の っ ち 保 全 会 (伊 賀 市)

【組織の概要】

組 織 設 立	2007 年(平成 19 年) 発足時:みどろ農地・水・環境保全向上会
認 定 農 用 地	田:11,132a 畑:35a 計 11,167a
主 要 施 設	水路:25.6km 農道:15.6km ため池:7 箇所
参 加 構 成 員	田:11,132a 畑:35a 計 11,167a
参 加 団 体	農事組合法人小上野, 東部三ツ池, 真泥宮農組合, 中西農事生産組合, 西部三ツ池, (株)ゆめ田んぼ, (有)アグリセンター大山田, (株)芭蕉農産, オーガニックファクトリー, 真泥区, 真泥子ども会, 真泥ゆるかネット, 十念寺護持会, おおやまだ鶴寿園, 大山田いこいの里

【地域の紹介】



伊賀市真泥地域は山田盆地の南西部で、服部川の左岸の沖積平地とその淵の丘陵地に位置しております。集落は丘陵上にあります。

人口は 292 人、世帯数 139 世帯(2023 年調べ)としており、年々減少傾向にあります。

地内に縄文期・弥生期の遺跡もあり、前方後円墳の他、古墳が群在しております。

また、マンガン鉱を採掘する鉱山もありました。

真泥の地名は、この地が泥地であったことによるといわれています。

” 地域とともに ” をキャッチフレーズに・・・

みのっち保全会は、地域との共同活動により、農業・農村が持つ自然環境の保全、美しい景観の形成、文化の継承などといったあらゆる多様な機能を守り、次世代へつないでいくための持続可能な地域づくりを目指し活動しております。

地域コミュニティの一環として、アジサイ祭り・水生生物の生き物調査・夏祭りの創作花火の製作・寄せ植え教室など老若男女問わず参加いただけるイベントを開催し、魅力ある地域づくりを地域とともにつくりたいと考えております。

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

【活動の紹介】

地域資源の
保全活動



美しい景観
の形成

地域コミュ
ニティの
維持・強化

✦ 農地・水路・農道等の維持



畦畔の草刈り



水路の泥上げ



獣害柵の点検



計画の策定

✦ 福祉及び
教育機能の活用

✦ 広報活動

✦ 農村環境保全活動の幅広い展開



みのっちアジサイロード

令和 6 年 6 月、”アジサイの道 1000 トル” 伊賀市「みのっち保全会」として、新聞に掲載いただきました。



創作花火



あじさいまつり



寄せ植え教室



生き物調査

✦ 地域住民による直営施工



水路の軽微な補修



農地畦畔復旧



防草シート設置



農道の軽微な補修

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

事務局からのお知らせ

多面的機能の維持・発揮活動 第 16 回みえのつどいが開催されました

令和 7 年 12 月 13 日(土)三重県総合文化センターにおいて、第 16 回みえのつどいが三重県、三重県農地・水・環境保全向上対策協議会の主催で開催されました。

今年度から「獣害につよい三重づくりフォーラム」との同日開催となり、初の試みとして高田高校放送部による司会、バトン部による演技が披露され、華やかなオープニングで幕をあけました。

開会式では、野呂副知事による主催者挨拶に続き、全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会の進藤顧問、東海農政局の秋葉局長、三重県議会の服部議長からご祝辞をいただきました。



野呂副知事挨拶



今回のみえのつどいでは、県内で多面的機能支払交付金事業に取り組む組織の中から、4 部門・4 組織が優秀活動組織として表彰されました。

さらに、獣害対策に積極的に取り組む団体の中から「獣害につよい集落」等優良活動表彰団体として 1 団体が選ばれ表彰されました。

・第 16 回みえのつどい優秀活動組織

部 門 名	活 動 組 織 名	市 町 名
施 設 部 門	五 佐 奈 区 地 域 資 源 保 存 会	多 気 町
農 村 環 境 部 門	五 郷 環 境 を ま も る 会	熊 野 市
コ ミ ュ ニ テ ィ 部 門	上 ノ 村 環 境 保 全 プ ロ ジ ェ ク ト	津 市
地 域 共 同 活 動 部 門	弥 生 会	大 台 町



・「獣害につよい集落」等優良活動表彰団体

活 動 団 体 名	市 町 名
伊 勢 市 横 輪 町 サ ル 対 策 有 志 グ ル ー プ	伊 勢 市

その後、基調講演では「農村を守ることの大切さ」と題しましてドキュメンタリー映画監督・農と市民をつなぐ会 柴田昌平氏に講演いただき、全体会は終了しました。

休憩後、参加者はテーマごとに 4 つの会場へ分かれて分科会の研修を受けました。



柴田講師

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

2026 年（令和 8 年）1 月 9 日



第 1 分科会の様子

第 1 分科会では「里山と都市の共存を目指して～地域資源と狩猟のこれから～」をテーマに NPO 法人いのちの里京都村の林利栄子事務局長に講演いただきました。



第 2 分科会の様子



第 2 分科会では「だから集落営農が必要だ！～自治会の機能的再編を関係人口で次代につなぐ、集落営農システムの構築～」をテーマに一般社団法人ひがし村の佐々木克哉理事に講演いただきました。



第 3 分科会の様子



第 3 分科会では「企業と地域のいいご縁！～はじめの一步を踏み出そう～」と題したワークショップを三重県農林水産部農山漁村づくり課の浦田素子係長のもとで開催されました。



第 4 分科会の様子



第 4 分科会では「にぎやかそ（過疎）の精神で楽しみながら拓く地域の未来～イノシシ・コミュニケーション～」をテーマにくまもと☆農家ハンター・株式会社イノ P の宮川将人代表に講演いただきました。

また、レセプションルームでは農業に関する最新の技術や製品を紹介する企業の PR 展示コーナーを、セミナー室 A、セミナー室 B では獣害対策に関する企業展示会や製品紹介を、特別会議室では活動組織様へ向けた組織運営や安全研修、補修技術に関する映像鑑賞会が行われました。

「第 16 回みえのつどい」は多くの交流と学びに包まれ、盛会のうちに終了しました。

今後も本県では、こうした取り組みを通じて、県内の農地・水・環境の良好な保全活動を支援してまいります。

活動組織の情報について

活動組織の情報に変更等が生じた場合は各市町への報告と合わせて、当会へもご一報いただきますようご協力をお願いします。

事務局では、日頃の皆様の活動を「たより」に紹介しますので、紹介を希望される活動組織の方はどんどん投稿して下さい。

投稿先 〒514-0006 津市広明町330番地
三重県農地・水・環境保全向上対策協議会
TEL 059-226-4825
FAX 059-225-7332

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会